

研究発表題目（ポスター発表）

林政		風致・観光	教育	経営
3/8 掲示分	PA-16 中山間地域等直接支払制度による限界的農地の林地化：大分県竹田市の事例：御田成顕（森林総合研究所東北支所）ら	3/8 掲示分	3/8 掲示分	3/8 掲示分
PA-1 # アンケート調査による森林カーボンクレジットの購入動機分析：渡邊匠海（新潟大学）ら	PA-17 地方政府はなぜ林業公社を廃止しなかったのか：泉桂子（岩手県立大学）	PB-1 # 都市部の小公園が有するエコロジカルネットワーク機能の経済的価値評価：大谷里菜（京都大学）ら	PC-1 # 森林環境教育にみる白神山地の活用可能性：西連寺麻友（日本大学大学院）ら	PD-1 # カンボジアにおける森林景観構造の時空間解析：趙恵敏（九州大学）ら
PA-2 # 造林立地と主伐・再造林率の関係－2010年代後半の3道県データを基に－：上野竜大生（九州大学院生物資源環境科学府）ら	PA-18 「官報」に報告された明治期日本の森林被害：高畑義啓（森林研究・整備機構 森林総合研究所）	PB-2 # 国立公園の計画策定過程における関係者間の協議・協力の実態について：谷田康一（滋賀県立大学院）ら	PC-2 # 高尾山自然休養林における教育の場としての検討：植竹宗雄（日本大学大学院）ら	PD-2 # 九州における再造林放棄地の約20年後の再造林・天然更新状況とその要因：教重涼子（九州大学）ら
PA-3 # 森林管理における公民連携手法の比較：国有林分取造林と公社造林を中心に：陳田（東京大学）ら	PA-19 Reevaluation of manmade rivers in early modern times in Japan: Goyogawa River, Utsunomiya City: 山本美穂（宇都宮大学）	PB-3 # 伊豆大島における地域住民による自然環境の保全活動の参加要因：渡邊寛明（筑波大学）ら	PC-3 # アニメーションを使った熱帯林保全のための環境教育の構築と評価：趙晶（鳥取大学）ら	PD-3 # 統計的因果推論に基づく保安林が皆伐に与える影響の評価：古田光樹（九州大学）ら
PA-4 # FSC 認証紙製品の価格プレミアム発生に関する検証：選択型実験を用いて：冨塚雅之（京都大学）	PA-20 防護柵事業を森林施業に組み込むための要件：高柳教（京都大学）	PB-4 # 日本における樹木葬のための森林管理：尤皖安（東京大学）ら	PC-4 # 西多摩地区の二つの中学校における森林に関する認識の比較：木谷光希（日本大学）ら	PD-4 # 再造林率が木材生産と炭素放出 発表取消
PA-5 # 森林組合と福祉事業体による林福連携の成立可能性：保積和奏（京都大学）	PA-21 林業現場で語り継がれる口伝：奥山洋一郎（鹿児島大学）ら		PC-5 # 郷土料理に使われている特産林産物には何があるのか？：米澤奏（日本大学）ら	PD-5 # Impact of the Indonesian capital relocation on watershed ecosystem services: GizawiAgie（三重大学）ら
PA-6 # 野生動物管理の政策ネットワーク可視化：言説ネットワーク分析の可能性：古賀達也（京都大学大学院）	PA-22 森林経営の統合的評価枠組みの開発：峰尾恵人（京都大学）ら	3/10 掲示分	PC-6 # 伝統的工芸品にみる森林資源を活用する課題：小林龍樹（日本大学）ら	PD-6 # カンボジアにおけるコミュニティ林業による森林保全効果の要因解析：小野田深（九州大学）ら
PA-7 # 民有保安林の持続可能性～鳥取県を事例に～：小林伸太郎（鳥取大学）ら	PA-23 本頁バイオマス発電の社会的な費用 発表取消	PB-5 ツシマヤマメコ生息地における里山利用の実態と変遷：安達湧吾（日本大学大学院）ら	PC-7 # 木育教室「海岸防災林を構成する樹木の特性を学ぶ」の開発・実施・評価：大西春帆（長野大学）ら	PD-7 # 栃木県鹿沼市における ALS データを活用した森林の多面的機能評価：菊地真以（宇都宮大学大学院）ら
PA-8 # Comparative Analysis of Stakeholder Consciousness on Logging Using AHP: choiteaheon (Kangwon University) ら →3月10日掲示に変更	PA-24 川瀬善太郎『林政要論』改訂版草稿をめぐって：古井戸宏通（東京大学）ら	PB-6 長野県阿智村における地域行事に使われる生物資源：小林弘樹（日本大学大学院）ら	PC-8 # 林業大学校で学ぶ学生の変化－コロナ拡大前とコロナ禍の比較－：小川高広（京都大学大学院）	PD-8 # シミュレーションによる空中ビタ－リフ法法の検討：小澤瑞樹（近畿大学大学院）ら
PA-9 # 福島県内の放置竹林実態：兼子喜史（福島大学）ら		PB-7 樹種分布による GIS を用いた遊歩道設計：黒瀬海晴（京都府立大学大学院）ら	PC-9 学校林植栽樹種の教育目的：田中千賀子（武蔵野美術大学）ら	PD-9 # 立地環境に基づく地位指数推定手法の比較検証：上岡洸太（京都府立大学）ら
PA-10 # 国立公園の整備費用のあり方に関する研究：竹内祐輔（福島大学）ら		PB-8 六甲山の森林管理をめぐるステークホルダーの関心事項の分析：田畑智博（神戸大学）ら	PC-10 ケニア・エランガタウワスのマサイ族集落における社会林業の取り組みと成果：中山紘之（岡山理科大学）ら	PD-10 # Exploring the Relationship between Organic Carbon and Soil Properties in Japanese Cedar Plantations: チョーウィン（The University of Tokyo）ら
PA-11 # 三宅島の富賀神社大祭から考える防災コミュニティの構築：小川夏帆（東京農業大学）ら		PB-9 森林ウォーキングによる身体的影響－心拍変動解析を用いた評価の試み：松原恵理（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	PC-11 大学農場における短時間の里山実習の成果と限界：倉本直（明治大学）ら	PD-11 # 勾配間伐処理におけるセルロース 発表取消
PA-12 # 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の効果と問題点：倪寛（東京大学）ら		PB-10 観光資源としてのワサビの現状と課題：田中伸彦（東海大学）ら		PD-12 # プナ天然林における UAV LiDAR を用いた LAI 計測手法の比較・検証：仮屋園純平（東京大学大学院）ら
		PB-11 土地所有からみたヨーロッパ諸国における都市林の生成と発展：胡睿喆（東京大学）ら		PD-13 # UAV-LiDAR データを活用した林内日射量と林床面蒸発の推定：高村詩央里（筑波大学）ら
3/10 掲示分		PB-12 狭山丘陵のコナラ二次林におけるナラ類集団枯損の動態：平塚基志（早稲田大学）ら		PD-14 # Application of UAV-LiDAR data in analyzing the allometric relationships of over a hundred tree species across Japan: HTOOKYaw Kyaw (Kyoto University) ら
PA-13 県立森林公園のバリアフリー化とその利用の現状：高田乃倫予（岩手大学）				PD-15 # UAV-LiDAR を用いたカラマツの単木樹幹検出と自動計測：ヤンカメイ（東京大学）ら
PA-14 田上山の森林伐採による生態系サービスへの影響：InVEST による推定：高橋卓也（滋賀県立大学）ら				PD-16 # 無人ヘリ LiDAR による若齢林の森林資源量推定：小林紀晴（宇都宮大学農学部）ら
PA-15 学際研究プロジェクト「森林の価値とは一森と生きるひとと社会の未来像－」：大手信人（京都大学）ら				PD-17 # ラジコンヘリ LiDAR データを用いたブナ林の単木情報解析：許明琪（新潟大学）ら

研究発表題目 (ポスター発表)

経営		造林	
PD-18 # 植栽地時系列比較のための UAV 空撮画像の相対的位置統合: 大槻峻介 (名古屋大学) ら	PD-36 # Land Use and Land Cover Classification of Mangrove Area in Myanmar Using Deep Learning and Remote Sensing Dataset. Win Sithu Maung (The University of Tokyo) ら	PD-53 小型のバックパック型 LiDAR 計測システムによる森林計測データの検証: 土井給介 (地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所) ら	PE-16 切り残した幹の伐採がコナラ萌芽枝の生残と成長に与える影響: 伊藤幸介 (新潟県森林研究所) ら
PD-19 # 竹林の拡大評価における UAV および SfM-MVS による画像解析の活用: 小笠原良 (京都大学) ら		PD-54 地上型 3D レーザースキャナを用いたスギ根元曲がり木の評価: 関子光太郎 (富山県農林水産総合技術センター森林研究所)	PE-1 # ミズナラ若齢林の保育: 成長と樹形に着目した種内・種間競争の影響解析: 原谷日菜 (北海道大学) ら
PD-20 # Detecting high-value hardwood trees using deep learning algorithm with unmanned aerial vehicle (UAV) imagery: トウニヨミイ (The University of Tokyo) ら	3/10 掲示分	PD-55 ドローン LiDAR と地上 LiDAR を組み合わせた森林生態学研究の新展開: 竹重龍一 (京都大学) ら	PE-2 # 間伐年度の違いと下刈りの有無がブナ当年生実生の生存・成長に与える影響: 庄司風 (新潟大学) ら
PD-21 # Estimating structural parameters of a complex mixed conifer-broadleaf forest using UAV photogrammetry: カリティゲスジェヤナン (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo) ら	PD-37 高知県におけるスギ・ヒノキの「フェアブライス」: 守口海 (高知大学) ら	PD-56 UAV-LiDAR を使った全国各地の長期観察林の樹冠調査: 小野田雄介 (京都大学) ら	PE-3 # 挿し床を変えた水挿しにおける挿し穂の成長: 戸田翔子 (東京農業大学) ら
PD-22 # 深層学習を用いた高解像度 UAV 画像からの広葉樹の樹種分類: 大原圭太郎 (鳥取大学) ら	PD-38 伐採の空間分布に関する県ごとの要因の予備的な分析: 山田祐亮 ((国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	PD-57 DF LAT: UAV-LiDAR データから森林利用点群処理ソフトウェアの開発と応用: 大西信隆 (京都大学 / DeepForest Technologies 株式会社) ら	PE-4 # 多摩地域の人工林での天然更新による広葉樹の導入: 新井勝利 (東京農工大学) ら
PD-23 # 汎用 CNN を用いたドローン空撮画像からの照葉樹種判別: 大中昭徳 (高知大学) ら	PD-39 森林計測制度における施策の実施基準の再検討~皆伐面積上限について: 溝上展也 (九州大学) ら	PD-58 森林域における RTK-GNSS 搭載 UAV 測量の位置精度: 加治佐剛 (鹿児島大学農学部) ら	PE-5 # 東京都東久留米市の高齢化した雑木林における伐採後の萌芽状況: 伊澤麻里 (自由学園最高等学校 (大学部)) ら
PD-24 # 学習方法の違いによる深層学習モデルを用いた三次元スギ樹冠抽出精度の評価: 相原直生 (宮崎大学大学院) ら	PD-40 森林資源を活用した地域活性化に向けた活動~朝霧キャンパスポルシェ~: 佐藤孝吉 (東京農業大学) ら	PD-59 森林境界明確化事業における高密度航空レーザ測量データの活用: 滝澤みちる (株式会社バスコ) ら	PE-6 # 放置広葉樹林の再生 - 萌芽更新の可能性 -: 森田博平 (福島大学) ら
PD-25 # 航空機 LiDAR データを用いた佐渡島の管理放棄スギ人工林抽出方法の検討: 佐藤楓 (新潟大学大学院) ら	PD-41 鳥取県における山地災害リスクを考慮した森林区分への取組: 矢部浩 (鳥取県林業試験場) ら	PD-60 航空機 LiDAR データによる人工林の管理状況の把握: 高橋興明 (森林総合研究所九州支所) ら	PE-7 # 遺伝子発現から見た酢酸によるスギ苗の細根の吸水抑制機構の検討: 小林裕子 (東京大学大学院) ら
PD-26 # 航空レーザ測量データを用いた地形因子によるスギの地位指数推定の精度検証: 垣田珠名 (京都府立大学) ら	PD-42 Monitoring tropical forest degradation and deforestation in two municipalities within the Brazilian Amazon rainforest: ノグエイラ ロベスタニエル (The University of Tokyo) ら	PD-61 航空レーザ測量データと地形指数を用いたスギ造林不適地の抽出: 千葉翔 (山形県森林研究研修センター)	PE-8 # モンゴル北部のカラマツ・シラカバハの混交状態とハイオマス: 飯田義人 (信州大学) ら
PD-27 # LiDAR を利用したスギ立木強度の推定~立地環境・樹冠情報との関係~: 原田喜一 (京都府立大学大学院) ら	PD-44 スギ一斉人工林における樹冠競争を加味した局所密度と単木の成長: 田中邦宏 ((国研) 森林総合研究所 関西支所)	PD-62 航空レーザ測量による森林資源解析のための汎用胸高直径推定式作成: 藤井創一朗 (アジア航測株式会社)	PE-9 # ヒノキ人工林への堅果供給における野ネズミの貯食行動の貢献: 田中湧也 (静岡大学) ら
PD-28 # 航空レーザ測量データによる森林構造指標を考慮した林相分類手法の検討: 北野陽大 (京都府立大学) ら	PD-45 NFI データを用いた広葉樹資源量把握手法の検討: 北原文章 (森林総合研究所) ら	PD-63 航空機 Lidar による森林資源解析における DCHM の補正に関する検討: 前田佳子 (国際航業 (株)) ら	PE-10 # ミズナラ二次林における樹材適性を持つ個体の特性と育成の可能性: 仲谷朗 (北海道大学) ら
PD-29 # J-クレジット制度の森林モニタリングにおける航空機 LiDAR の有用性: 沼間芳野 (新潟大学) ら	PD-46 群状複層林における個体の成長パターン: 大分県由布市の事例: 太田徹志 (九州大学) ら	PD-64 航空レーザデータによる作業道規格の計測: 鈴木秀典 (森林総合研究所) ら	PE-11 # ビートバルブ給餌がシカ嗜好性樹種の樹皮はぎ被害と個体群構造に与える影響: 多田雄治郎 (東京農業大学) ら
PD-30 # 深層学習を用いた航空機 LiDAR による竹林抽出精度評価: 西山明慶 (名古屋大学) ら	PD-47 久万高野町スギ群状伐採林の後継樹の成長と隣接後継樹エリアの検討: 豊田信行 (海岳森林技術士事務所)	PD-65 Forest/non-forest mapping with StriX X-band SAR images based on semantic segmentation: 宇田拓史 (株式会社 Synsense) ら	PE-12 # キイチゴ類が繁茂した南アルプス大規模雪崩跡地の高木種実生の更新状況: 永田慈夢 (信州大学) ら
PD-31 # Dynamic World に基づく森林擾乱要因の推定: 日本とマニラの事例研究: 李哲 (九州大学) ら	PD-48 品質保証するためのクローン管理技術の体系化: 田村美帆 (株式会社竹谷商事) ら	PD-66 衛星画像による単木レベル森林計測精度の検討~航空機 LiDAR との比較~: 山本一清 (名古屋大学) ら	PE-13 # ヒノキ林縁個体の 1 次枝と 2 次枝における心材と辺材の軸方向分布: 伊藤太陽 (信州大学) ら
PD-32 # 栃木県における衛星データの機械学習分類による竹林分布モニタリング: 清野咲花 (宇都宮大学) ら	PD-49 スギ人工林における強度間伐後の樹冠閉鎖: 飯田玲奈 (群馬県林業試験場) ら	PD-67 GEDI データによる森林資源量の解析: 小橋進平 (森林総合研究所)	PE-14 # 林冠が再開鎖した壮齡にノキ人工林におけるムラサキシキブの樹形の構造特性: 牧野遼詩 (信州大学) ら
PD-33 # PlanetScope を用いた福岡県における竹林分布の把握: 内山優布奈 (九州大学大学院) ら	PD-50 林業経営面から見たクマクズ被害抑制のための方策: 石橋登司 (東京大学) ら	PD-68 時系列 Landsat データを用いた森林タイプ分類の試行: 田中真哉 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら	PE-31 下刈り方法の違いがカラマツ植栽苗の成長とシカ被害に及ぼす影響: 池本晋吉 (鳥取県林業試験場)
PD-34 # Combining Graph and Convolutional Neural Networks with multi-sensor remote sensing for forest type classification: 慧卿妻 (The University of Tokyo) ら	PD-51 地上レーザ計測による広葉樹が侵入したマツ林の調査: 村川直美子 (山形県森林研究研修センター) ら	PD-69 長期時系列空間データによる足尾山地復旧過程モニタリング: 松英恵吾 (宇都宮大学)	PE-32 鳥取県におけるスギ当年生コンテナ苗の初期成長: 赤井広野 (鳥取県林業試験場)
PD-35 # Forest Change Detection in Solomon Islands using Multi-temporal Satellite Data: BeuMcJessey Leon Brian (Niigata University) ら	PD-52 地上レーザ計測による出材量予測の精度評価: 有元かれん (鹿児島大学) ら		PE-15 オニグルミの更新初期における生育特性および好適な立地環境: 山崎暁 (岩手大学) ら
			PE-33 海岸クロマツ林の植栽密度が植栽 9 年目の生存率及び樹高成長に及ぼす影響: 小林真生子 (千葉県農林総合研究センター) ら

研究発表題目（ポスター発表）

造林		遺伝・育種		
PE-34 石川県におけるカラマツ人工林の現況：富沢裕子（石川県農林総合研究センター林業試験場）ら	PE-52 出荷適正サイズ維持のために切り戻したブナ苗木の成長と樹形への影響：田中樹己（新潟県森林研究所）ら	3/8 揭示分	PF-18 関西育種基本区におけるヒノキさし木植栽試験：磯田圭哉（森林総合研究所林木育種センター関西育種場）ら	PF-35 ゴイマツの球果含水率と種子散布との関係：生方正俊（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）ら
PE-35 低密度植栽における節及び枝の状況：松本純（大分県）	PE-53 令和4年における北部九州産ブナ種子の生産量および健全度：作田耕太郎（九州大学）ら	PF-1 ヒノキのゲノム編集に向けた遺伝子組換え系の効率化：小長谷賢一（森林研究・整備機構）ら	PF-19 # 高標高地におけるサワラの繁殖様式の推定：村田幸哉（名古屋大学）ら	PF-36 関東育種基本区ヒノキ精英樹クローンのジベレリン処理による雄花着花量評価：坪村美代子（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら
PE-36 九州産スギ6品種の地上部一次生産量と窒素利用：榎木勉（九州大学）ら	PE-54 半島マレーシアの生態系修復植林地における植栽木の20年間の成長：米田令仁（森林総合研究所）ら	PF-2 # CRISPR-Cas9 ゲノム編集によるmiRNA156a/168aの発現抑制：岡部信（東京大学）ら	PF-37 若齢時におけるスギ特定母樹のジベレリン処理による雄花着生性：宮下久哉（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター関西育種場）ら	PF-38 スギ閉鎖型採種園における時期別ジベレリン処理による雄花着花数：庄司優太（鳥取県中山間地域研究センター）
PE-37 山梨県におけるスギの樹高成長曲線の修正：長谷川高平（山梨県森林総合研究所）ら	PE-55 100年生ヒノキ人工林における材積成長：石井弘明（神戸大学）ら	PF-3 多様なスギ系統の成長形質と相関のある発現遺伝子と遺伝的変異の検出：永野総一郎（森林研究・整備機構）ら	3/10 揭示分	PF-39 スギミニチュア採種園の植栽木の根系および窒素含有量：宮本尚子（森林総合研究所林木育種センター東北育種場）ら
PE-38 ALS データと機械学習を利用した樹高推定にもつづく新たな地位マップ：壁谷大介（森林総合研究所）ら	PE-56 スギ採種園で異なる母樹個体から採取した種子の特性：藤井栄（徳島県立農林水産総合技術支援センター）	PF-4 # 異なる期間の土壌乾燥ストレスに対するブナ実生の発現変動遺伝子の探索：青日栗子（三重大学）ら	PF-20 ブナ林冠木の局所集団における一塩基多型の分布様式：鳥丸猛（三重大学）ら	PF-40 根域抑制栽培したヒノキ少花粉品種の種子生産について：西川浩己（山梨県森林総合研究所）ら
PE-39 茨城県中部の造林地において斜面位置によるスギ苗木の成長の違いとその要因：齋藤隆実（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）ら		PF-5 日本の主要高木種の遺伝的適応：ブナ集団における自然選択の探索：佐藤祐祐（名古屋大学大学院）ら	PF-21 生育環境の違いによる、梁井吉野の全ゲノムメチル化比較：松本麻子（国研 森林総合研究所）ら	PF-41 エゾマツ交配園における着果の状況 - 一球果重量に見られる年次変動 -：加藤一隆（森林総合研究所林木育種センター北海道育種場）
PE-40 オノエヤナギの伐採時期および伐採方法が萌芽発生量に与える影響：矢野慶介（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場）ら		PF-6 # 候補遺伝子アプローチを用いたブナ集団における自然選択の探索：佐藤祐祐（名古屋大学大学院）ら	PF-22 自然集団での雑種崩壊の理解に向けたサクラ属実生における遺伝子発現解析：鶴田燃海（森林総合研究所）	PF-42 山形県内に造成した花粉の少ないスギ品種による採種園の種子生産性：宮下智弘（山形県森林研究研修センター）ら
PE-41 持続的な広葉樹林施策を目指して資源量から伐採・搬出・更新を考える：齋藤智之（森林総合研究所 東北支所）ら		PF-7 タカネザクラ集団の環境適応遺伝変異の空間モデリング：加藤珠理（多摩森林科学園）ら	PF-23 カラマツ着花変異系統を用いた雌花着花に関わる遺伝子座の探索：三嶋賢太郎（森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場）ら	
PE-42 流域界ごとの環境不均一性とスギ樹高成長：中尾勝洋（森林総合研究所）		PF-8 # Genome Wide Association Study for growth traits using teak progeny trial at Ngawi, Indonesia: MeinataAlnus (University of Tsukuba) ら	PF-24 針葉トランスクリプトームの季節変化におけるゴイマツ雑種 F ₂ の特性：福田陽子（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場）ら	
PE-43 半島マレーシアにおけるフタバギ科樹木の葉と材の形質特性と成長の関係：田中憲蔵（国際農林水産業研究センター）ら		PF-9 # 熱帯アジア有用樹種・チークの遺伝構造と遺伝的環境関連性の解明：小沼佑之介（筑波大学大学院）ら	PF-25 トランスクリプトーム解析からみた耐乾性の異なるスギ系統の乾燥応答の違い：能勢美峰（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター）ら	
PE-44 ウダイカンパの定着が豪雪地に植栽したブナに及ぼす影響：沼宮内信之（秋田県林業研究研修センター）ら		PF-10 # 磐越地域に分布するクロモジ2変種の遺伝構造と葉の形態：吉川太一（新潟大学大学院）ら	PF-27 核 SSR マーカーに基づく九州の第二世代ヒノキ交配園における交配形態：岩泉正和（森林総合研究所林木育種センター九州育種場）ら	
PE-45 林冠ギャップ形成後の低木層による機械はブナ天然更新を阻害するのか？：柴田嶺（新潟大学）ら		PF-11 多検体全ゲノムが描くミズナラコナラ交雑種の遺伝的ダイナミクス：伊藤僚祐（京都大学）ら	PF-28 ヒノキの薬剤感受性に関する遺伝学的研究：平尾知士（森林総合研究所林木育種センター）ら	
PE-46 落下した球果から採種したコウヨウザン種子の発芽率：藤田徹（京都府農林水産技術センター）		PF-12 # 近畿地方の里山林に生育するコナラの遺伝構造：三上夏生（東京大学）ら	PF-29 スギ広域産地試験地における植栽5年次までの生存・成長：三浦真弘（国立研究開発法人森林研究・整備機構）ら	
PE-47 ヒノキ植栽地の枝葉積みが広葉樹の侵入に及ぼす影響：宇敷京介（岐阜県森林研究所）ら		PF-13 # カエデ属 <i>Palmata</i> 節6種の狭父山地における葉緑体 DNA の種間及び種内変異：戸口侑紀（日本女子大学大学院）ら	PF-30 全国5箇所のアカマツ産地試験地における植栽後5年の成長特性：那須仁弥（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター東北育種場）ら	
PE-48 秋施肥がスギコンテナ苗の耐凍性と翌春の成長に及ぼす影響：飛田博順（森林総合研究所）ら		PF-14 葉緑体 DNA シーケンスによるキハダの系統地理：稲永路子（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター）ら	PF-31 スギ雪圧害抵抗性検定林の10年次データを用いた解析：井城泰一（森林総合研究所林木育種センター東北育種場）ら	
PE-49 自記式デンドロメーターによる漆掻き樹木幹周囲長の日変化と季節変化：白旗学（岩手大学）ら		PF-15 # 日本国内で見られるキリ属植物の遺伝的多様性：長沢和（宇都宮大学大学院）ら	PF-32 アカエゾマツの根元曲がりと幹曲がりの抵抗性に家系間差が生じる要因：花岡創（静岡大学）ら	
PE-50 雑草本との競合下におけるスギ植栽木の成長に及ぼす被陰樹冠量の影響：山川博美（森林総合研究所九州支所）ら		PF-16 ゴイマツ雑種 F ₂ の挿し木増殖における多年生台木から採取した枝の発根率：中川昌彦（北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場）	PF-33 マツ材線虫病被害地から選抜したアカマツ抵抗性候補木の材質形質の評価：丹羽花恵（岩手県林業技術センター）ら	
PE-51 壮齢スギ人工林における収穫間伐後15年間の下層植生の変化：塚原雅美（新潟県森林研究所）ら		PF-17 # センダン挿し木を利用した難発根性要因の検証：室永藤子（九州大学）ら	PF-34 9年生スギエリートツリーと従来種苗との応力波伝播速度の比較：田口裕人（愛媛県農林水産研究所林業研究センター）ら	

研究発表題目 (ポスター発表)

生理		植物生態		
3/8 掲示分	PG-18 # STS 処理によるエチレン作用阻害がヒノキ科樹木の幹の傷害応答に及ぼす影響: 竹田真子 (鳥取大学大学院) ら	PG-34 炭水化物の季節変化から読み解く常緑広葉樹における繁殖戦略: 韓慶民 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら	3/8 掲示分	PH-18 # 自然性の高い緑化地創出に向けた緑化地と周辺天然林の森林構造比較: 奥山颯大 (神戸大学) ら
PG-1 # 幹枝内クロロフィル量の樹種による違いと周皮透過率との関係: 岡田乃安 (静岡大学) ら	PG-19 # ユーカリ属における葉内ポリフェノール含有量の種間比較: 永嶋春輝 (東京農工大学大学院) ら	PG-35 大気二酸化炭素濃度と樹根共生がブナ実生の光合成能力に及ぼす影響: 赤路康朗 (国立環境研究所) ら	PH-1 # シカ・イノシシ利用頻度の異なるナラ柱れ被害地の更新可能性: 加藤大樹 (東京大学) ら	PH-19 # 広葉樹における立地環境と分布ポテンシャルの関係: 山下淳也 (京都府立大学大学院) ら
PG-2 # 北方針広混交林2樹種の光合成電子伝達系に及ぼす高温下の光阻害: 松田侑樹 (北海道大学) ら		PG-36 クロマツ種木の成長特性へのマツ属中間台木の影響: 中島剛 (青森県産業技術センター林業研究所)	PH-2 # 佐渡島のスギ・ブナ混交林の過去30年間における動態と攪乱の影響: 岡田柚佳 (新潟大学) ら	PH-20 # 多雪域スギ天然林の更新に枯死根株が果たす役割: 井上大嘉 (新潟大学) ら
PG-3 # ダケカンパにおける電子伝達速度と気孔コンダクタンスの産地間変異の評価: 中田修人 (静岡大学) ら	3/10 掲示分	PG-37 常緑樹の葉は落葉樹よりも強度が高いだけでなくより大きな変形に耐える: 梶野浩史 (東北大学) ら	PH-3 # シカの排除が樹木実生動態に及ぼす影響: 密度依存性とニッチ分化に着目して: 内藤英理香 (東京大学) ら	PH-21 # Topographical gradient of structure and diversity of the woody plant community in a seasonally dry forest in Madagascar: 藤本悠太郎 (京都大学) ら
PG-4 # Responses of cambium activity and xylem anatomy of <i>Cryptomeria japonica</i> clonal cultivars to experimental warming: 内山クリスマス (Kobe University) ら	PG-20 <i>Eucalyptus camaldulensis</i> の毛状根形質転換系の確立: 田原恒 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら		PH-4 # 奥秩父山地におけるシカ食害後の下層植生回復に対する光強度とシカ柵の効果: 笠間英恵 (千葉大学) ら	PH-22 # 佐渡島におけるブナとスギの生育場所の環境要因について: 岡田航大 (新潟大学) ら
PG-5 # 幹表面における見かけの呼吸商と樹液流によるCO ₂ 輸送量の比較: 齋藤彼方 (静岡大学) ら	PG-21 一過発現解析系を用いたユーカリの加水分解性タンニン生成遺伝子の探索: 山崎千尋 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら		PH-5 # シカ高密度化による土壌の養分・水分条件の変化が林冠木の成長に及ぼす影響: 長根由紀子 (酪農学園大学) ら	PH-23 # 兵庫県南東部の社叢林における20年間の植生動態: 任睿 (神戸大学) ら
PG-6 # Estimating stem respiration for different temperature tree species by mass balance method: 王萱雯 (静岡大学) ら	PG-22 ブナ樹冠の葉の長鎖ノンコーディング RNA 発現の年変動とマスティング: 斎藤秀之 (北海道大学) ら		PH-6 # シカ排除柵の内外におけるブナ成木の肥大成長量の比較: 阿部隼人 (九州大学) ら	PH-24 # 御明神演習林大滝沢試験地の針広混交林における32年間の動態: 宮澤優輔 (岩手大学) ら
PG-7 # 非構造性炭素の季節変化から見るヒメシャラの幹枝光合成の役割について: 加藤友梨香 (静岡大学) ら	PG-23 コナラにおける展葉制御機構の遺伝子発現解析: 小林正樹 (国際農林水産業研究センター) ら		PH-7 # モンゴル北部に生育する樹齡が異なるシラカンバの肥大成長の気候応答: 倉田遼大 (信州大学) ら	PH-26 # 暖温帯二次林と冷温帯老齢林における樹木群集動態と機能形質との関係: 策勒格爾 (名古屋大学) ら
PG-8 # ウリハダカエデで見られた早春の樹液滲出量・樹液糖度と繁殖状況との関係: 齋藤楓華 (岩手大学大学院) ら	PG-24 スギにおけるHKT系カリウムトランスポーター遺伝子の単離と解析: 細尾佳宏 (信州大学) ら		PH-8 # 気候変動下でササは森林の生産性にどのように影響するか?: 小幡愛 (東京大学) ら	PH-27 # Landsat 時系列データを用いた丹沢山地丹沢山の植生動態モニタリング: 大西一步 (東京農業大学大学院)
PG-9 # 細根呼吸速度の樹種間比較: 非構造性炭水化物の季節変化からの探求: 橋本裕生 (信州大学) ら	PG-25 Physiological characteristics of <i>Cryptomeria japonica</i> during the dormant season in the warm-temperate region: 比江島尚真 (鹿児島大学) ら		PH-9 # 標高の違いに対するガンゴウランの表現型可塑性: 浅間山高山帯の事例: 近森雄作 (長野大学) ら	PH-28 # 大台ヶ原の針広混交林における森林面積の長期変動: 面積は減少しているか?: 田中紅羽 (三重大学) ら
PG-10 # 根圏低酸素と高温の複合ストレスに対する熱帯フトモモ科樹木の根の呼吸応答: 川江萌々香 (東京大学大学院) ら	PG-26 乾燥ストレスに対するスギおよびヒノキコンテナ苗の生理生態的反応: 小笠真由美 (森林総合研究所関西支所) ら		PH-10 # クリの萌芽と潜伏芽の関係性について: 石原奏 (新潟大学) ら	PH-29 # ブナのマスティングが林床光環境と下層木の成長に与える影響: 大谷紀一 (静岡大学) ら
PG-11 # トドマツの加齢と個体サイズに依存した針葉の発現変動遺伝子と生理機能評価: 田嶋健人 (北海道大学) ら	PG-27 強い土壌乾燥に対するスギ・ヒノキ成木の樹液流速の応答: 釣田竜也 (森林総合研究所) ら		PH-11 # スギの成長速度における系統間差を決定する樹種特性について: 日下真枝 (京都大学大学院) ら	PH-30 # 冷温帯林における幹メタン放出の放射方向変動性: 長沢誠 (京都大学) ら
PG-12 # 光波長変換下で育てたカラマツ実生の葉の老化遅延に関する遺伝子発現解析: QIANGHAOYANG (北海道大学) ら	PG-28 土壌乾燥ストレスによるスギ苗木の回帰不能点について: 才木真太郎 (森林総合研究所) ら		PH-12 # サカキのシュート構造と光環境との関係: 岸大地 (京都府立大学大学院) ら	PH-31 # Aboveground net primary productivity in three major forest types in Cambodia: ThavSopheap (Nagoya University) ら
PG-13 # ブナ樹冠の葉の老化にともなう遺伝子発現パターンの変化: 前田唯真 (北海道大学) ら	PG-29 水ストレスに対するヒノキの着花特性とそのメカニズム: 福田拓実 (静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター) ら		PH-13 # モミ苗木における幹枝の形態とフェノロジー: 神代花穂 (京都府立大学) ら	
PG-14 # ダケカンパの葉形質の種内変異: 5つの産地試験林を用いた評価: 早川朋花 (静岡大学) ら	PG-30 永久凍土上のクロトウヒの肥大成長は森林火災後にどのように変化するか?: 大橋伸太 (森林総合研究所) ら		PH-14 # 冷温帯落葉広葉樹における UAV-LiDAR を用いた枝分布構造の種間比較: 谷瑞木 (静岡大学) ら	3/10 掲示分
PG-15 # 温帯性つる植物種の木部道管形質の地理変異は凍結対処戦略によって異なるか?: 日下部玄 (東京大学) ら	PG-31 九州山地のブナ林における土壌侵食による葉の生理学的特性への影響: 東若菜 (神戸大学) ら		PH-15 # 枝ビクセルの増減過程に着目した UAV による葉フェノロジーの評価: 田中秀英 (静岡大学) ら	PH-32 The effect of experimental extreme precipitation on the performance of trees planted after landslides: 曾瑞琪 (北海道大学) ら
PG-16 # スギ集団間の乾燥ストレスに対する生理学的適応機能の差異: 小切社仁 (神戸大学大学院) ら	PG-32 高温ストレス下での <i>Melaleuca cajuputi</i> の窒素の吸収と転流: 則定真利子 (東京大学) ら		PH-16 # LiDAR を用いた小流域における林床の光環境の評価: 福井喜一 (京都府立大学大学院) ら	PH-33 エコタイプの異なるブナの萌芽特性: 上村章 (森林総合研究所) ら
PG-17 # 材線虫病感染における壁孔の病変: 黄文倩 (東京大学) ら	PG-33 13C バルサラベリングを用いたスギ2品種の炭素配分の季節変動: 樋浦正子 (京都大学) ら		PH-17 # レーザ測量を用いた森林の臨界点: 発表取消	PH-34 トドマツの雪害抵抗性に関連する枝形質の地域変異とゲノムワイド関連解析: 菅井徹人 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 北海道支所) ら

研究発表題目 (ポスター発表)

防災・水文			利用	
PJ-18 # 下層植生が林床面蒸発散量に与える影響と推定モデルの開発: 橋本朝陽 (筑波大学) ら	PJ-34 釜淵森林理水試験地における小規模施後の浮遊土砂流出: 阿部俊夫 (森林総合研究所) ら	PJ-52 病虫害後のコナラのイソプレン放出特性: 深山貞文 (森林総合研究所) ら	3/8 揭示分	PK-16 作業道盛土の転圧時に作用する土圧と透水性: 宗岡寛子 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
PJ-19 # 落葉広葉樹林斜面における林内雨の時空間分布: 三宅康太 (東京農業大学) ら	PJ-35 カラマツ人工林斜面における獣害による土砂流出量の変化: 廣瀬満 (山梨県森林総合研究所)	PJ-53 異なる気候帯に生育するブナの葉の特性とガス交換: 小坂泉 (日本大学) ら	PK-1 # 地形と事業量による伐採搬出作業システムの選択: 大橋岬平 (三重大学) ら	PK-17 バックホウのバケット部による路床締固め時の最適な締固め回数?: 和多田友宏 (岐阜県森林研究所) ら
PJ-20 # 高密度のマダケ林における樹冠遮断の特徴: 木村健人 (宮崎大学大学院) ら	PJ-36 北海道道東の森林において微動アレイ探査を用いた地下構造の推定: 福島慶太郎 (福島大学) ら	PJ-54 エルニーニョ現象による異常乾燥が乾燥常緑林の水利用に与える影響: 飯田真一 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	PK-2 # タワーヤーダを用いた下げ荷集材可能範囲及び搬出可能量の推定: 木野朗斗 (京都府立大学) ら	PK-18 横断排水溝に使用するノキ枝束束の見かけの復元に関する考察: 山口智 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
PJ-21 # 宮崎大学田野フィールドの常緑広葉樹林における蒸散量の計測: 阿部悠南 (宮崎大学) ら	PJ-37 東京農業大学奥多摩演習林狩倉沢流域における表面地形と基岩地形との比較: 佐藤貴紀 (東京農業大学) ら	PJ-55 ボルネオ島オイルパーム農園の水蒸気輸送に気象要素が与える影響: 羽田泰彬 (東京大学) ら	PK-3 # ウッドライナーを用いた下げ荷集材における集材可能範囲の抽出手法の開発: 木戸彩乃 (京都府立大学) ら	PK-19 獣害対策を考慮した微細選別を用いたのり面保護工: 矢部和弘 (東京農業大学) ら
PJ-22 # カラマツ人工林における林齢ごとの蒸発散特性の比較: 太田原久美 (東京農業大学) ら	PJ-38 山地斜面の土層・基岩層における間隙空気の挙動について: 若上翔 (森林総合研究所) ら	PJ-56 ヒノキ人工林における列状間伐後蒸散量の長期変動およびその要因: 邱瑋璋 (筑波大学) ら	PK-4 # 熟練度の違いによる伐倒作業時の注視点分析: 大島滯 (東京農業大学) ら	PK-20 光学衛星データを活用した長野県内における林道被災箇所抽出の試み: 秋田寛也 (国立研究開発法人防災科学技術研究所) ら
PJ-23 # 土壌水分収支法による幼齢カラマツ人工林の蒸散特性: 相澤杜真 (東京農業大学) ら	PJ-39 施業履歴の異なるヒノキ林の2流域における流出量の比較 (第2報): 久田善輔 (岐阜県森林研究所) ら	PJ-57 林齢がカラマツの単木蒸散量および林分蒸散量に及ぼす影響: 橋隆一 (東京農業大学) ら	PK-5 # 森林作業道における路面支持力及び林分蒸散量に及ぼす影響の事例一: 伊奈菜 (東京農業大学) ら	PK-21 敵対的生成ネットワークを用いた路網計画のための迂回率予測: 白澤結明 (森林総合研究所)
PJ-24 # 冷温帯落葉広葉樹における夜間蒸散特性の季節変化: 倉本輝 (静岡大学) ら	PJ-40 石川県の森林流域における夏季と積雪期の流出経路の比較: 久保田多余子 (森林総合研究所) ら	PJ-58 森林保険データの解析に基づく干害と立地の関係—北海道と山口県の比較—: 岩崎健太 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	PK-6 # 中山間地域の人口動態の変動が森林のアクセシビリティに及ぼす影響の推計: 渡部優 (岩手大学大学院) ら	PK-22 GNSS を利用した苗木の植付け位置への誘導精度: 佐々木達也 (森林総合研究所北海道支所) ら
PJ-25 # Seasonal Changes Radial Profile of Sap flow for Four Species with Difference Crown Structure: FaryzanQistan (The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University) ら	PJ-41 竜ノ口山南谷における地下水、湧水、溪流水の環境トレーサーによる比較: 細田育広 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所関西支所)	PJ-59 間伐による林内風荷重の変化: 宮下彩奈 (森林総研) ら	PK-7 # Detecting logging sites and their impact on downstream areas in Guadalcanal, Solomon Islands: ChachaTrevor (三重大学) ら	PK-23 ネットワーク型 RTK-GNSS 測位による造林地周囲測量の精度に及ぼす立地の影響: 鶴崎峰 (福岡県農業総合試験場) ら
PJ-26 # Comparison of hydrological response to commercial thinning and clear-cutting of dense Japanese cedar plantation: Mohd Ghausbiltsam Binti (東京大学) ら	PJ-42 ヒノキの枝打ち処理が樹冠の降雨再配分過程に与える影響: 田中延亮 (東京大学) ら		PK-8 素材生産における作業日報記録方法の検討: 海津江里 (三重県林業研究所) ら	PK-24 林業機械自律走行のための作業道逸脱防止システムに関する一検討: 有水賢吾 ((国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
PJ-27 # 水の安定同位体比を利用した湿野地と斜面における樹木の水利利用特性の比較: 浅野理久郎 (京都府立大学) ら	PJ-43 森林理水試験地に対する TOPMODEL 型タンクモデルの適用: 観山寛樹 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら		PK-9 生産管理システムを用いたホイール式ハーベスタの生産性評価: 斎藤仁志 (岩手大学) ら	
PJ-28 # 桐生水文試験地ヒノキ林における森林動態および NEE の長期変動: 佐藤薫 (京都大学) ら	PJ-44 地震による森林植生の変化が地下水と河川の水質に及ぼす影響: 高橋大登 (公立千歳科学技術大学) ら		PK-10 受け口・追い口形状の実態調査: 猪俣雄太 (森林総合研究所) ら	
PJ-29 # A-Ci カーブに基づく光合成能力の推定はどれだけ簡略化出来るのか?: 中田拓朗 (東京大学) ら	PJ-45 北方冷温帯林において植生が出水時のリン流出に及ぼす影響について: 井手淳一郎 (公立千歳科学技術大学) ら		PK-11 下刈り作業の機械化に向けた研究: 大地純平 (山梨県森林総合研究所)	
	PJ-46 日本全国における森林深流水水質の空間分布: 牧野奏佳香 (総合地球環境学研究所) ら		PK-12 イノシシ・シカ等獣害防護柵侵入検知システムの実用化研究: 井内正直 (アイオーネイチャーラボ株式会社)	
3/10 揭示分	PJ-47 スギ人工林土壌中の放射性同位体濃度の鉛直分布: 今田省吾 (公益財団法人 環境科学技術研究所) ら			
PJ-30 都道府県が公開する WebGIS 上の防災マップの特徴と傾向: 園原和夏 (日本大学) ら	PJ-48 Heavy nitrogen deposition accelerates soil acidification in Chinese forests: 藤井一至 (森林総研) ら		3/10 揭示分	
PJ-31 ベトナムにおける治山施設の潜在的ニーズと普及に向けた課題: 岡本隆 (森林総合研究所) ら	PJ-49 Soil carbon dynamics in two Phyllostachys stands: abandoned bamboo stands still can be carbon sinks?: 久米朋宣 (九州大学大学院) ら		PK-13 作業現場におけるフォワーダ集材中の疲勞の経時変化: 中田知沙 (森林総合研究所) ら	
PJ-32 斜面安定に対するスギ倒根効果の検討方法: 岡田康彦 ((国研) 森林研究・整備機構) ら	PJ-50 可搬型フラックスタワーを用いた植栽初期スギ森林の CO2 フラックス: 小南裕志 (森林総合研究所) ら		PK-14 刈払機の駆動動力源の違いが、造林地における下刈りの作業負担に及ぼす影響: 玉田勝也 (山梨県森林総合研究所)	
PJ-33 樹木の配置と根系の形状が樹木個体の引き倒し抗力におよぼす影響: 大谷達也 (森林総合研究所四国支所)	PJ-51 スギ・ヒノキ林樹冠上の大気 O ₃ 濃度と H ₂ O・CO ₂ 交換量の関係について: 清水貴範 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構) ら		PK-15 ホイール型林業機械外装の色彩構成: 松村哲也 (信州豊南短大/東大院 農)	

研究発表題目 (ポスター発表)

動物・昆虫		微生物	
3/8 掲示分	PL-16 揮散性ピレスロイド系殺虫剤による樹幹内のカンナガキクイムシ駆除の試み：北島博 (森林総合研究所) ら	3/8 掲示分	3/10 掲示分
PM-33 Geographic distribution of needle litter microfungi in British Columbia: 大園享司 (同志社大学) ら	PL-1 # 高尾山域における高頻度なレクリエーション活動が野生動物に与える影響：安井理香 (東京大学大学院) ら	PM-1 # アカマツ実生の生育を阻害する <i>Trichoderma</i> 属菌の単離と病原性の評価：白川誠 (東京大学大学院) ら	PM-16 日本産マツ属樹木と共生する外生菌根菌胞子の耐熱性：阿部寛史 (東京大学) ら
PL-2 # 京都市宝が池公園に生息するニホンシカの日間活動：杉田泰淳 (京大大学院) ら	PL-17 カシノナガキクイムシ成虫の初発日確認に自動撮影装置は利用できないか：滝久智 (森林研究・整備機構) ら	PM-2 # 菌根のターンオーバーに伴う根圏バクテリアの群集変化とそれらの分解機能：若山彩貴 (東京農業大学) ら	PM-17 Identification of microRNAs involved in ectomycorrhizal formation in <i>Cenococcum geophilum</i> : 陶媛助 (The university of Tokyo) ら
PL-3 # 捕食者の非消費型効果がシカの行動形質と時空間的活動に及ぼす影響：玉木麻香 (東京大学) ら	PL-18 岩手県におけるカンナガキクイムシの1年2化虫の発生事例：小岩俊行 (岩手県林業技術センター) ら	PM-3 # 日本の天然カラマツ林における外生菌根菌群集：張麗翼 (東京大学) ら	PM-18 Identification of lncRNAs involved in ectomycorrhizal formation in <i>Populus tomentosa</i> : 楊紫薇 (東京大学) ら
PL-4 # 糞粒法に用いるノウサギの糞消滅に影響を与える要因の検討：中川惠翔 (宮崎大学大学院) ら	PL-19 カシノナガキクイムシ穿入丸太の分割と林内放置による羽化脱出への影響：衣浦晴生 (森林総合研究所) ら	PM-4 # ヤクズギ林冠と地上土壌における菌根菌群集の比較：末吉功幸 (神戸大学) ら	PM-19 Growth responses of larch seedlings to the inoculation of ectomycorrhizal genera <i>Suillus</i> and <i>Rhizopogon</i> : 宮本裕美子 (信州大学) ら
PL-5 # 都市の鳥類の種子散布ネットワークに影響を及ぼす要因：湯天馬 (東京大学大学院) ら	PL-20 カシノナガキクイムシ穿入木の玉切り長さの違いによる羽化脱出への影響：矢口甫 (森林総合研究所) ら	PM-5 # Exploring the functions of <i>GST2/GPS1104/PE15/PE17</i> genes in ectomycorrhizal formation of <i>Populus tomentosa</i> : 劉穎 (東京大学) ら	PM-20 地質ボーリングコアを用いた菌根埋土胞子の生存期間の探索：田中友啓 (東京大学) ら
PL-6 # ヒノキ人工林における階層構造と繁殖期および越冬期の鳥類種多様性の関係：西鈴音 (宮崎大学) ら	PL-21 カシノナガキクイムシ穿入木の埋設処理による羽化脱出への影響：松本剛史 ((国研) 森林総合研究所) ら	PM-6 # Analysis of related gene expression and genotype frequency underlying ectomycorrhizal formation in <i>Cenococcum geophilum</i> : 孔徳寧 (東京大学) ら	PM-21 森林土壌中の菌糸ターンオーバー：土壌断面撮影とAI画像分析で追いつけるか：SchaeferHolger (森林総合研究所)
PL-7 # 落葉樹天然林の針葉樹人工林化による有刺ハチ群集のデトリタス依存度の増加：上森敬慈 (九州大学) ら	PL-22 ミズナラ丸太による青森県産カンナガキクイムシの飼育試験：伊藤昌明 (地独) 青森県産業技術センター林業研究所	PM-7 # Co-colonization in <i>Populus tomentosa</i> : a split root assay-based study of arbuscular and ectomycorrhizal interactions: KosolwattanaPhobthum (東京大学) ら	PM-22 3種のショウロ属菌における埋土胞子の生存期間の検証：村田政穂 (秋田県林業研究研修センター) ら
PL-8 # スギ・ヒノキ丸太へのエタノール注入によるキクイムシ穿孔様式の劇的な変化：中山直紀 (名古屋大学) ら	PL-23 東日本におけるカンナガキクイムシの集団遺伝構造：小林卓也 (森林総合研究所 北海道支所) ら	PM-8 # 異なる菌根形成段階におけるイテヤクワ根圏細菌の群集構造と系統的多様性：柴航太郎 (三重大学) ら	PM-23 サクラ属樹木4種に対する <i>Oyatospora japonica</i> の病原性：服部友香子 (森林総合研究所) ら
PL-9 # 飛翔時間がカンナガの姿勢に及ぼす影響～フライトミルを用いた観察～：小西文輝 (兵庫県立大学) ら	PL-24 フクギの枝と葉柄に穿孔するフクギキクイムシの繁殖生態：辻本信志 (一般財団法人沖縄美ら島財団) ら	PM-9 # 町屋海岸クロマツ林における <i>Cenococcum geophilum</i> 菌体バイオマスの定量：瀬川あすか (三重大学) ら	PM-24 カラマツ類交代検定で発生したならだけ病-被害の家系差に注目して～：和田尚之 (北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場) ら
PL-10 # 野外環境下でマツノザイセンチュウはその近縁種と雑種を形成するか?：池田俊月 (明治大学) ら	PL-25 モミの害虫モミハモグリゾウムシの生活史と植物病原菌の媒介について：綾部慈子 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	PM-10 # ミヤマハンノキの共生微生物群集構造：藤井恵理奈 (東京大学大学院) ら	PM-25 日本におけるマツ類赤枯病病原菌の分子同定：秋庭満輝 (森林総合研究所) ら
	PL-26 長野県におけるツヤハダゴダマラカミキリ成虫の発生：柳澤賢一 (長野県林業総合センター) ら	PM-11 # カラマツ林とスギ・ヒノキ混交林の境界における外生菌根菌の埋土胞子の分布：廣江裕輝 (東京農業大学) ら	PM-26 千葉県北部地域に造成した幼齢ユカリ人工林に発生した葉枯病性害：坂上大翼 (東京大学)
3/10 掲示分	PL-27 クビアカツヤカミキリ飼育個体に対する各種殺虫剤の効果試験 3年間の結果：法眼利幸 (和歌山県林業試験場) ら	PM-12 # 菌根形成したアカマツ実生の成長と培地における菌叢の特徴との関係：吉岡隼人 (東京農業大学) ら	PM-27 スギコンテナ苗の根腐れ部から分離された <i>Fusarium</i> 属菌：安藤裕明 (森林総合研究所九州支所) ら
PL-11 河川敷がニホンシカの生活環に重要な役割を果たしている：林耕太 (山梨県森林総合研究所)	PL-28 トビムシ一雌体からの腸内微生物叢解析の試み：濱口京子 (国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 関西支所) ら	PM-13 # 乾燥条件下で砂漠植物の成長に関わる根圏内生微生物の推定：NGUYENTHI HUONG THI (鳥取大学) ら	PM-28 薬剤散布によるスギ赤枯病の防除効果：北野皓大 (群馬県林業試験場) ら
PL-12 白山亜高山・高山帯における自動撮影カメラによるニホンシカの侵入状況調査：近藤崇 (石川県白山自然保護センター) ら	PL-29 マツハリカメムシ (<i>Leptoglossus occidentalis</i>) の共生細菌獲得経路の探索：武原菜々花 (九州大学) ら	PM-14 # 種内系統と交配型の分布から探る暗色雪腐菌の繁殖様式：岩切鮎佳 (東京大学大学院) ら	PM-29 モミサルノコシカケを接種したトドマツの溝腐れと子実体発生に影響する要因：山口岳広 (森林総合研究所)
PL-13 宮崎大学田野演習林のスギ若齢林におけるシカ被害発生の経年変化：平田令子 (宮崎大学) ら	PL-30 カブトムシ幼虫による木材分解能力の解明：福田淳李 (東京農業大学) ら	PM-15 # ヒノキ生立木の剥皮木部でみられた菌類類群の経時的変化の特徴：戴健平 (東京大学大学院) ら	PM-30 カラマツ高齡林 I 林分における根株腐朽被害：鳥居正人 (森林総合研究所) ら
PL-14 岐阜県においてツリーシェルター2種類がスギ苗木の成長に与える影響の違い：片桐奈々 (岐阜県森林研究所)	PL-31 isofemale line を利用したマツノザイセンチュウ近交系の作出：樋口彩乃 (九州大学) ら		PM-31 ナラ枯れ被害発生初期地におけるナラ菌検出技術の確立：片屋真人 ((国研) 森林研究・整備機構・森林総合研究所) ら
PL-15 小面積皆伐更新が行われてきたコナラ二次林における3年間のナラ枯れの推移：松本薫 (埼玉森林インストラクター会)			PM-32 ナラタケモドキの発生する1公園でのカンナガキクイムシの時空間分布：高橋由紀子 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら

